

第38回応用言語学講座公開講演会

後援：国際言語文化研究科教育研究プロジェクト経費

(「言語学・応用言語学研究者養成のための講演会・チュートリアル実施プロジェクト」)

日本語学習辞書へのコーパスの活用

講師：砂川有里子先生(筑波大学名誉教授・国立国語研究所客員教授)

英語学習辞書の開発にコーパスを活用することはすでに常識となっているが、国語辞典や日本語学習辞書でのコーパスの活用は緒に就いたばかりの状況である。しかし、『現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)』の公開を始め、日本語の大規模コーパスがつぎつぎに公開され始めており、日本語においても辞書に関するコーパスの活用が盛んになってくるものと思われる。そこで本発表では、日本語の辞書の開発にコーパスを活用するためのツールとして NINJAL-LWP for BCCWJ と NINJAL-LWP for TWC の紹介をし、そのツールを使って開発した日本語学習者辞書のオンラインソフト『日本語教育語彙表』と『基本動詞ハンドブック』の紹介をしたのち、これらの開発にコーパスを使った具体的な事例として、多義語の語釈、語義の配列、類義語の記述について論じ、辞書の開発にあたってコーパスがどのように利用できるのかを考える。

✓ 日時：2016年2月2日(火) 午後2時45分～4時15分

✓ 場所：名古屋大学・東山キャンパス全学教育棟北棟4階406室

(<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/>)

✓ 交通案内：地下鉄名城線「名古屋大学駅」①番出口徒歩5分

入場無料・事前申し込み不要

問い合わせ：志波彩子 <shiba@lang.nagoya-u.ac.jp>